

会議顚末書

						記 録 者	徳安 柚花	
供 覧	教 育 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 係	査 長	グ ル ー プ 員
件 名		令和 5 年度第 2 回子ども読書活動推進委員会会議						
年 月 日		令和 6 年 2 月 26 日（月）						
時 間		午後 14 時～15 時 20 分						
場 所		龍ヶ崎市立中央図書館 2 階 鑑賞室						
出 席 者		【委員】 坂本委員、飯塚委員、中山委員、佐子川委員、伊東委員、朝日出委員、堀端委員 【事務局】 〈文化・生涯学習課〉国松課長、由利係長、関主事、記録者 【関係各課等】 〈図書館〉米川館長 〈指導課〉山中課長補佐 〈こども家庭課〉糸賀課長補佐 〈健康増進課〉小池副主幹			傍 聴 人 数		0 人	
事務局 （徳安）		1 開会 会議の成立（10 名の委員のうち 7 名が出席し、龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例第 6 条第 2 項に規定している委員定数の過半数以上の出席）						
事務局 （国松）		2 課長あいさつ						
議 長		3 議 事 それでは議事に入ります。 次第に従いまして、「第四次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画 令和 5 年度取組実績（4 月～12 月）経過報告」について、各担当課より説明をお願いします。						
担当課		（資料に基づき説明）						
議 長		各課担当課からの説明が終了しましたので、質疑に入ります。ご質問やご発言のある委員は挙手をお願いいたします。						

佐子川委員	まず図書館に2点お伺いします。1頁の電子図書館IDの件についてですが、IDを配布した後、電子図書館の利用に変化はありましたか。 また、3頁の出前講座の実施によって、学生の来館や貸出の数等に影響はありましたか。統計はとっていないと思いますので、実感としてでも構いません。
図書館	電子図書館のID配布が電子図書の貸出に繋がったかどうかは、今年度末に統計をとり、この場で皆様にご報告をさせていただきたいと思います。 質問の二つ目ですが、出前講座によって図書館の利用に影響があったかということは、はっきりわからない状態です。ただ、出前講座を実施したスタッフからは、図書館が行っている講座に対して、皆さんからとても温かいお言葉をたくさんいただいていると聞いております。前年度の話になりますが、城西中で実施した乳幼児向け絵本講座を参考にして生徒が作った絵本を、図書館で展示したこともございます。
議 長	5頁の読書指導の項目ですが、読書が好きかどうかというアンケート結果の報告をいただいています。この子どもたちがやがて親になったときに、読書が好きな親はその子どもに読書を勧めて、読書が好きじゃないまま大人になった親は関心が低くなるということを考えると、やはり本が好きな子どもがどれだけ増えるかということはすごく大事だと思って読ませていただきました。 その上で、みんなにすすめたい1冊の本推進事業の実績がまだ出ていないということですが、今の時点ではどのような進捗となっていますか。
指導課	4月からの累積冊数なので、毎年1月や2月に達成する子どもたちが多いです。そのため、12月時点での実績は目標値のおおよそ半分でした。 子どもたちがいくら本を読んでも、記録をつけないと達成に近づかないので、記録をするよう声かけしてくださいと先生方をお願いしたところです。
議 長	子どもたちが自分で記録をするのですね。 坂本先生、学校での様子はいかがですか。
坂本委員	学校では毎日朝読を行い、特に水曜には読んだ本を記録する時間をとっています。中学生が読書時間を確保することは難しいのですが、それでも龍ヶ崎中学校では休み時間に図書室に集まったり、教室で読書をしたりする子も増えています。 今後も、声かけをして読書記録を付けたうえで報告できればと考えています。
議 長	ほかの委員の皆さんどうですか。今の時点で読書に関して感じておられることでも構わないですので、いかがでしょうか。

伊東委員	5頁のボランティアの活用・支援の項目に関しまして、読書ボランティアは保護者から募っていると思うのですが、その集まり具合が十分かどうか知りたいと思っています。 子ども園で0歳から6歳の園児を預かっていますが、本の大切さを理解しない保護者が増えてきたと感じているものですから、園児が小学校、中学校にあがっていった時にどうなっているのか気になっています。読書に対する姿勢は親によって様々かとは思いますが、少しでも読書の意義を理解し、簡単な本でも親が学校で読んであげているといいとおもいます。 やはり子どもが大きくなればなるほど親は間違いなく読み聞かせをしてあげなくなりますので、気になった点です。
議 長	わかる範囲でも良いのでお願いします。
指導課	指導課ですが、小学校の現場にいた立場からお話しさせていただきます。今共働きの親が多くなっていますので、朝の会が始まるまでの20分間で読み聞かせができる朝に余裕のある保護者というところ、すごく少なくなっているとは思いますが。そのかわり、子どもが小学校を卒業した後もボランティアを続けてくれる方もいらっしゃいます。 少なくともコロナ禍で読み聞かせの取り組みが2、3年途切れてしまう前は、このような形で続けていました。ボランティアには保護者だけでなく地域の方も参加してくれている学校もあります。
議 長	伊東さんどうですか。今の回答に対して何かコメントがあればよろしくお願いします。
伊東委員	やはり周りの大人が本好きであれば子どもも好きになるだろうと思いますので、園でもとにかく親を巻き込んで進めることが、本好きに繋がるのかなと思いました。
議 長	今まで積み重ねてきたものをコロナ禍が断ち切ってしまったというところはやはりあると思います。私の園でも、絵本の読み聞かせサークルがコロナ禍で活動停止したままでして、再開するのも本当にエネルギーがいるなあと感じているところです。 また、親を巻き込んだ取り組みについてですが、毎週月曜日に園の本を3冊ずつ家に貸し出す取り組みをしまして、その貸出ボランティアはどの保護者も必ず1年に1回はお願いすることにしています。あらかじめ保護者の方と日程調整をしているので、働いてらっしゃる方の協力もいただいております。実際に子どもが絵本を選んでいる姿に立ち会うことで、絵本への関心を持つ機会にしたいと思っています。 他にはどうでしょうか。
佐子川委員	実際に長山小学校で読み聞かせボランティアをしていて、他の学校での読

	み聞かせ活動についての話も聞いている立場から、お話をさせていただきます。 共働きの家庭が多いので、現役の保護者の参加が減っていると実感しています。ただ、お仕事されていても都合に合わせて参加していただく方もいらっしゃいますし、私のように子どもが卒業した後も参加している人もいます。ほかにも、図書館のボランティアに学校での活動もお願いするなど、学区外から来ている方もいらっしゃいます。 コロナ禍で活動が停止した期間は学校によって結構違っていますが、今はどこの学校も再開していて、子どもたちは本当にすごく楽しく聞いてくれています。関心のない保護者が増えたと聞いて、驚きました。
議 長	ありがとうございます。他にご質問等がないようでしたら、「第四次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画 令和5年度取組実績(4月～12月)経過報告」について承認したいと思いますが、よろしいでしょうか。 (異議なし)
議 長	続きまして、「第四次龍ヶ崎子ども読書活動推進計画令和6年度取組計画(案)」について各担当課から内容の説明をお願いします。
担当課	(資料に基づき説明)
議 長	各課担当課からの説明が終了しましたので、質疑に入ります。ご質問やご発言のある委員は挙手をお願いいたします。
堀端委員	令和6年度の取り組み計画から、健康増進課と障がい福祉課の取り組み、指導課の読書指導の項目が削除されています。これは目標を達成したから削除されたのでしょうか。
事務局	複数の課が協力して取り組んでいる項目がありましたので、今回はそれらを統合して計画案としました。 具体的には、健康増進課の取り組みは図書館の「プレパパ・プレママへの読書啓発(2頁)」、「ブックスタートの実施(3頁)」の項目に統合し、障がい福祉課の取り組みは図書館の「配慮や支援を必要とする子どもたちの図書の充実(1頁)」、「子ども読書の日、こどもの読書週間、読書週間の周知(4頁)」に統合させていただきました。 また、指導課の読書指導の項目も同様に4頁の教育総務課の項目に統合してあります。
堀端委員	読書指導の充実のために、指導課としての取り組みを明記する必要があると思います。今年度の達成目標は達成する見込みですが、次年度も発展した目標を立てて取り組みを続けていくべきではないでしょうか。

指導課	指導課の役割は、直接子どもたちを指導するのではなく先生方に指導をするというものであるため、教職員への周知や理解促進など、そちらの方に重きを置いたと考えております。先生達の理解を促進して、そこから先生たちから子どもたちに読書指導をしてもらおうと考え、読書指導が教育総務課と一体になっても構わないと思った次第です。 ただ、「読書が好きだと答えた子どもの数」という達成目標は、数字としてはとてもわかりやすいので、残したほうがいいのか、というのは感じていたところです。
議長	堀端さんの質問は他の方も気になっていたところだと思うので、基本方針に副担当の表記を付け加えるなどすれば、委員の方の戸惑いが減るかと思いました。書き方を変えるということは前に進もうとするあらわれなので、前年度とまったく変わらないより良いのですが、他の部署に関連するということを明記するなどしてわかりやすくなるよう検討してみてください。
堀端委員	1頁の「配慮や支援を必要とする子どもたちの図書の充実」の項目についてですが、令和5年度経過報告では療育に有効な図書の目標購入冊数が25冊で、経過実績は9冊の購入となっています。 それが令和6年度計画では購入冊数ではなく貸出冊数が目標値となっていますね。来年度は図書の購入に係る目標値はないのでしょうか。
図書館	現在、療育の本の購入は最後の大詰めとなっていて、目標値である25冊に向けて購入を進めている真っ最中ですが、今年度中には達成できる予定ですのでご安心ください。 令和6年度の計画案には購入冊数の目標が載っていないというご指摘ですが、療育の本の購入はつぼみ園からのリクエストの上で実施するものですので、図書館の取り組みの目標としては、団体貸出に力を入れるほうがふさわしいと考えました。しかし、25冊程度を目標として、図書の購入を進めていく予定ですので、よろしくお願いいたします。
議長	先ほどの話と関連してもう1点お聞きしたいのが、つぼみ園以外との協力体制についてです。配慮が必要な児童のためにLLブックの購入や点訳絵本の導入をしていただけていますが、つぼみ園以外の施設や団体と情報共有や情報交換をして、龍ヶ崎の図書館のサービスを伝える体制はあるのでしょうか。 また、支援が必要な方の来館を想定した職員向けの研修体制は整備されていますか。
図書館	学校図書館司書との学校配送等の事業でつながりがありますので、学校での支援を必要としている児童の状況などの情報を得て、今後善処していきたいと思っております。また、新刊案内や図書館案内などで、図書館の情報を市内の小中学校等のほかに、美浦特別支援学校にもお送りさせていただいております。

	ます。 職員への研修に関して貴重なご意見をいただきましたので、今後の課題として支援を必要とされている方への対応の研修について、今後考えていきたいと思います。
議 長	今の話には指導課も関係してくるのではないかと思います。図書館だけではなく、各学校の特別支援学級や通常学級にも、配慮を要する子がいますよね。そうすると、児童への配慮や支援を先生に指導するところで、関わっていただくところがあるかなって思って聞いていました。
指導課	恥ずかしながら、配慮が必要な子どものための本がたくさんあるということを今理解したところなので、ぜひ学校で必要としている子ども達に活用していけたらなと思いました。このあと、図書館の担当の方と打ち合わせをして、学校で活用できる場면을検討させていただきたいと思います。
議 長	率直なお返事をありがとうございます。こうやって集まってお話しすることから新しい発見がいっぱい出てくるので、ぜひ前向きによろしくお願いいたしますと思います。 それではまた委員の皆さんからのご質問ご意見に戻りますが、いかがでしょうか。
朝日出委員	5頁の「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」に関連してですが、小学生にとっては図書館でたくさんの本を手にとって選んで本を借りるというだけでもすごく楽しいことだと思います。 ただ、中学生になると部活動などで忙しくなってしまうということですが、冊数は少なくても、友達と本をシェアし合うだとか、心の豊かさや国語力の養成につながるような読み方ができるような取り組みはあるのでしょうか。
議 長	いかがですか。中学校の先生でもいらっしゃる坂本委員の立場からも意見交換できるといいですね。
坂本委員	中学生は時間が無いということのほかにも一冊ずつの本が分厚くなっていくので、頑張って読んでいても30冊の目標を達成できなかったり、今まで本に親しんでこなかった子たちが図書館に行って借りるということのハードルが高くなったりしています。確かに目標値を考え直してもいいのかなと思いました。 龍ヶ崎中学校ではクラス対抗で読書量を競わせるなどの取り組みから始めています。あとは、個人配布のタブレットで図書館からのお知らせを流しています。 また、ビブリオバトルを開催し、昼休みに全体で流して本を紹介する取り組みを始めているところです。

	子どもたちに本に興味を持ってもらえるよう、そういったことからいろいろ取り組みをして、図書室は人数制限をしないと入れないときもあるくらい一生懸命読む子達が増えてきています。
朝日出委員	目標値だけで測ることのできない心の豊かさや国語力を身に着け、子どもたちの将来のためになる取り組みになるよう、先生方が工夫していらっしゃるようなので、安心しました。ありがとうございます。
議 長	スマートフォンの普及により、スマホを見る時間はあっても本を読む時間は無いという、難しい時代になっていると思います。中山委員、どう思われますか。
中山委員	3頁のブックスタートの実施に関してですが、3～4か月児乳幼児健診に参加せず、ブックスタートを実施していない子どもたちに対して、本を送って差し上げるなどの代替措置は無いのか、お伺いしたいと思いました。
健康増進課	ここ数年で実施率が伸びていない背景にはコロナ禍の影響があります。また、共働きのご家庭で都合がつかなかったり外国からきたご家庭で情報を得られていなかったりで、集団健診にいらっしやらないご家庭もございます。勧奨の電話や訪問で取り組んではいますが、受診率はなかなか伸びていないところが現状です。 集団検診にいらっしやらなかった場合、図書館でブックスタートの本をお渡しするというご案内はしています。
中山委員	特に外国からきたご家庭の子どもたちに対して、ブックスタートなどのサービスを受けられるような配慮があると、社会全体で子どもたちを守っていけるようになると思います。
佐子川委員	コロナ禍以降、ブックスタートにボランティアによる読み聞かせは休止していますが、再開のめどは立っているのでしょうか。 ブックスタートを始めた頃、小さいお子さんをお持ちの方の図書館利用が増えたと聞いています。また、子どもが読み聞かせに反応する様子を保護者に見せることによって、家庭での読み聞かせを促す事にもつながっていたと思います。現在は本を渡すだけになってしまい、保護者への意識づけができていないのではないかと危惧しています。 ボランティアが参加することができないのならば、ブックスタート協会で作成しているビデオを子どもたちに見せるなど、ただ本を渡すだけではない形にしてほしいと思っています。
健康増進課	以前のように一人ずつ場所と時間を取って読み聞かせはしていませんが、今も図書館の職員が本の読み聞かせを短時間してから渡しています。 6年度以降のボランティアによる絵本の読み聞かせをどうするか、課内でも検

	討していきます。
図書館	感染症対策下でもタブレットのような画面で読み聞かせを見せるということとは可能ではないかと思います。場所の確保や流すビデオなど、検討していきたいと思います。
堀端委員	1頁目の配慮や支援を必要とする子どもたちの図書の充実の項目では、令和5年度は購入冊数が目標値となっていたのが、令和6年度は貸出冊数になっています。また、3頁の団体貸出の実施と活用という項目は、令和5年度は貸出冊数ですが、令和6年度は購入図書の冊数が達成目標となっています。 目標値において、貸出冊数と購入冊数はどう使い分けているのでしょうか。
図書館	配慮や支援を必要とする子どもたちの図書の充実については、団体貸出のリクエスト数が少ないという課題に取り組むため、購入冊数ではなく貸出冊数を目標としました。 団体貸出については、より多く活用してもらうため、令和5年度の目標を団体貸出200冊として、各小中学校への配送事業を始めました。すると、12月時点で目標を大幅に超えた3005冊という実績となりました。ですので、令和6年度は貸出資料の充実ということで、リクエストによる資料を購入することとしました。
議 長	就学前の状況について、伊東委員何かございますでしょうか。
伊東委員	現状、タブレットはだいぶ普及をしていますが、私は小学校に上がる前の子どもにタブレットは不要だと考えています。使い方によっては便利かもしれませんが、保護者にとっても子どもにとってもこの使い方を理解するのがとても難しいので、小さいうちは人と人との触れ合いを大事にするべきだと常々思っています。実際に親としてブックスタートに参加した経験から、今しかできないことなど大事なことを見つめなおして、子ども達に伝えられたらと思います。
議 長	子ども園でもスマートフォンやタブレットの弊害が出ていると感じます。とにかく親が安易にスマホを与えてしまい、子どもは過激で一方的な情報を受け続けるので未就学児の脳にもよくないと思います。とにかく修学前はどれだけ絵本の読み聞かせをしてもらうかということが学校に入ってから国語力の基礎になっているので、ブックスタート以外にも子どもの発達と絵本との大事な結びつきを周知できるような取り組みをしていきたいと思っています。 龍ヶ崎市は子育て日本一を目指していると思いますが、少子化対策として補助金をだすほかにも、子どもを産んで育ててよかったという実感を得られるような龍ヶ崎なりの子育て支援として、本を身近に考えていただきたいと

	考えています。 親が子どもにものを教えるといったコミュニケーションの間にもスマホが入りこんでいく時代ですので、就学前の子どもを持つ親にどう訴えるかというのが重要だと思います。
議 長	特にご質問等がないようでしたら、第四次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画令和 6 年度取組計画（案）について承認したいと思います。よろしいでしょうか。 （異議なし）
議 長	それでは、承認いたします。
	4 その他
議 長	次にその他に移ります。 事務局から連絡事項等ありますか。
事務局	特にありません。
	5 閉会
議 長	他に連絡事項等がなければ、これで令和 5 年度第 2 回子ども読書活動推進委員会を閉会いたします。 慎重なご審議、ありがとうございました。
	※議長：龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例第 5 条第 2 項により会議の議事進行について、飯塚委員長が会議の議長を務める。

	令和 6 年 2 月 26 日に開催された龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会会議の内容については、上記のとおり相違ありません。 令和 6 年 月 日 議事録署名人 _____ 議事録署名人 _____		
要措置事項			
情 報 公 開	公 開		
情 報 公 開	公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ヶ崎市情報公開条例第 9 条 号該当）

※ この様式は、会議顛末書その他、報告書（人事課に提出する研修報告書は除く）、交渉記録簿、打合せ顛末書等に適宜表題を変更して使用します。